

1

アプローチカリキュラム

アプローチカリキュラムを創ろう

平成29年度の幼児教育の教育要領等の改訂を受け、改めて5歳児の就学前教育を見直し、「ちいさな芽」の特質を生かしたアプローチカリキュラムを作成することとしました。

台東区の幼児教育がめざす子供の姿

- 健やかな心と体を持ち、きまりを守り行動できる子供
- やさしさや思いやりの心を持ち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供
- 自然や身近なことに関心を持ち、自ら考え、豊かに表現する子供

アプローチカリキュラムの期間

幼児や保護者が就学を具体的にイメージするのは、就学时健康診断の頃からが多いが、幼児期は育ちの個人差や生活経験の差が大きい。

また幼稚園、保育園、認定こども園や多様な保育施設では生活リズムの違いもある。そこで5歳児の生活を教育要領・保育指針・教育保育要領にあるように、個人差に応じてゆとりをもって展開すべきと考え、アプローチカリキュラムの時期を4月から3月までと捉えた。

アプローチカリキュラムの内容

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の方向性に対応しながら、遊びを通じた教育を進め、幼児教育の特質を生かしたアプローチカリキュラムを作成する。

(教材開発、多様な活動内容の紹介、小学校との接続を明確化)

作成について

アプローチカリキュラムの作成にあたっては、幼児教育の現場で初めて5歳児を担当した保育者も活用しやすいものを目指す。また、各園での活用の状況における実態を踏まえて工夫を加えていく。

接続期における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の捉え方について

幼児教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教員との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るものとする。

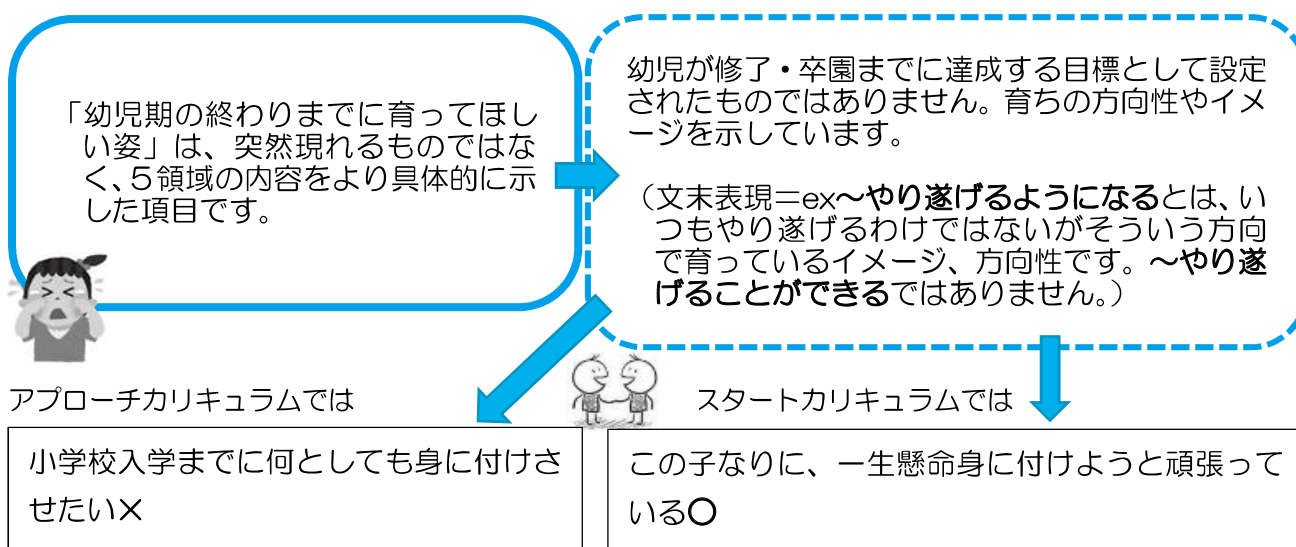
(注) 幼児教育は、各施設で幼稚園教育、保育所保育、幼保連携型認定こども園教育保育と表記。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」




① 健康な心と体	幼稚園生活（保育所の生活／幼保連携型認定こども園における生活）の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
② 自立心	身近な環境に主体的に関わり、様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、あきらめずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
③ 協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりして、充実感をもってやり遂げるようになる。
④ 道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりしながら相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
⑤ 社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園（保育所／幼保連携型認定こども園）内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
⑥ 思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

<p>⑦ 思考力の芽生え</p>	<p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>
<p>⑦ 自然との関わり・生命尊重</p>	<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになる。</p>
<p>⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p>	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に気付きこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>
<p>⑨ 言葉による伝え合い</p>	<p>先生（保育士等／保育教諭等）や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身につけ、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>
<p>⑩ 豊かな感性と表現</p>	<p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>

①～⑩の表記は幼稚園教育要領では(1)～(10)、保育所・幼保連携型認定こども園ではア～コとなる。



5歳児進級から 1年生入学へ(発達の特徴と育ちの連続性)

	I 期 (4月～5月)	II 期 (6月～9月)	III 期 (10月～12月)
生活	<p>「今日から年長さん」</p> <p>進級の喜び 新しい環境への興味</p> <p>「次はこうだね」</p> <p>手順を考える 受け継いだ当番活動 生き物の世話を進める</p> 	<p>「やってみよう！」</p> <p>自分から気付いて 環境を整える</p> <p>「準備できたよ！」</p> <p>衣服の調整 身の回りの始末 季節の遊び (水・プール)</p> 	<p>「ぼくたち園のリーダー 運動会や生活発表会 行事がたくさんあるね」</p> <p>目的の共有 自分の役割を意識</p> <p>「こんなことできたよ！」</p> <p>いろいろな運動を楽しむ</p> <p>「それ、危ない 気をつけよう」</p> <p>日常生活や災害時など で安全な行動をとる</p>
	<p>「どんなせんせい？ あの子どんな子？」</p> <p>新しい先生や 友達との出会い</p> 	<p>「みんなと一緒に遊ぶと 楽しい！！」</p> <p>友達と思いを出し合ったり 受け入れ合ったりする</p> <p>「〇〇してみたらどう？ 「それいいね！」</p> <p>共通のルールで遊ぶ楽しさ ルールのある遊びの中での工夫</p>	<p>「困っているみたいだよ 大丈夫？」</p> <p>身の回りの人々への配慮</p> <p>「そうか・・・！我慢しよう」</p> <p>自己コントロール がまんできる</p> <p>「〇〇ちゃんの気持ちは？」</p> <p>相手の言葉を聞く 人の気持ちを察する</p>
学び	<p>「一緒につくろう」</p> <p>共同制作の楽しさ グループへの所属感</p>	<p>「不思議だな」</p> <p>砂や水、色が出る木 の実や花の色水遊び</p>	<p>「最後までちゃんと聞くよ」</p> <p>相手の話を最後まで聞く</p>  <p>「風強いね！ 台風みたい！」</p> <p>自然への強い関心</p>
	<p>「思い切り遊びたい」</p> <p>固定遊具への挑戦</p>	<p>「図鑑で調べてみよう」</p> <p>栽培物の生長・収穫 植物や虫への興味 空、星、宇宙への興味</p>	<p>「チャレンジしよう！」</p> <p>ちょっと難しいことに挑戦 創意工夫の積み重ね</p>

「もうすぐ1年生」

見通しをもって生活
入学への期待と不安

「ありがとう
〇〇園」

お世話になった人・物・場
への感謝の気持ち

「もうすぐ修了」

場に応じた態度
主体的な取り組み



「小学校 たのしいよ」 安心・安全

学校の生活リズムや活動の見通し
身の周りの整理整頓
係活動への取り組み
給食の準備



「友達と力を合わせよう」

仲間意識 協同的な遊びや活動
役割分担 友達のよさを認める
共通の目的に向かって協力



「みんなと なかよく なりたいなあ」

友達との楽しい遊びや活動



「みんな仲間」

友達とのつながり
学級のまとまり
互いのよい面を認め合う

「学校でもがんばるよ」

自分への自信
未知の世界への期待
主体的に取り組む(満足感)



「春が来たね」

1年の季節の廻りを知る
日差し、風の暖かさを感じる

「もっと知りたい、聞きたい」

学校たんけん
教科の学習への興味・関心
新しいことへの挑戦



I 期 (4～5月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな心と体をもち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心をもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心をもち、自ら考え、豊かに表現する子供
---------------	------------------------------	--

期の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・進級の喜びを味わい、自分でできることはすすんでしようとする ・異年齢や新入園児、前年度5歳児との関わりを楽しむ ・みんなで遊ぶ楽しさを味わい、クラスとのつながりを感じる ・新しい環境の中で、自分が興味・関心をもったことにすすんで取り組む
-----------	--

		《経験の内容》 主な活動例 保育教育資料	
3	生活	<p>《進級の喜びを感じ新しい生活環境を作っていく》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室の環境を保育者と一緒に作る 遊具や用具、教材などの置き場所を決める 自分のマークを決め、名札を作る ・所持品の収納場所(靴箱・ロッカー・引き出し・タオル掛け等)に付けて、自分の場を知る ・前年度5歳児から引き継いだ動植物の世話等の当番活動、朝の会 ・自分からすすんで挨拶をする ・登園、降園時に年下の新入園児等を手伝い、園内の場所や生活に必要な所持品の始末などを教える ・園庭やホールなどで共有の遊具や用具の片付けをすすんで行う(片付けパトロール隊) ・園行事等を進める準備(入園式の手伝い、誕生会の司会等) <p>《思い切り体を動かして十分に遊びを楽しむ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲梯、登り棒、高さへの挑戦、巧技台、助け鬼、手つなぎ鬼、色鬼、鉄棒、ボール遊び ・好きな遊びを見つけて、周囲のモノを取り込みながら十分楽しむ ・これまでに経験したことのある遊びを再現して遊ぶ いろいろなごっこ遊び 制作遊び 砂場 <p>《春から初夏へ自然環境の変化に気付く》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の調節や汗の始末、陽光や風の様子など日常生活の中で感じる <p>《自分たちで楽しく生活できる環境を作る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活グループの名前を決める ・当番表の作成 ・当番の内容ややり方などを知る ・大型積み木や巧技台の使い方を知る ・物の置き場所や遊具の使い方を相談して決める。製作スペースや絵本のコーナーなどを作る ・製作物を飾る棚や壁面、製作途中のものを置くスペースなどを作ったり、決めたりする 	
	人のかかわり	<p>《年少児や修了児、身近な人々、地域の人々との触れ合いを楽しみ親しみを感じる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少児の様子を見たり世話をしたりしながら相手の思いを察しようとする 話し掛ける・聞く ・幼小併設園では、休み時間に訪れる前5歳児の話の聞いたり、当番活動の話をしたりしながら、小学校へ興味や関心をもつ ・5年生との交流で小学生へ憧れをもつ ・あいさつ運動でお世話になる町会の人やお祭りに参加する保護者に親しみをもってすすんで挨拶をする <p>《新入園児(年少、同年齢)と一緒に遊び、自分の気持ちを伝えようとして、相手の気持ちを察したりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少児＝花壇への水やり・飼育物を一緒に見る 金魚のエサやり等 同年齢＝挨拶をしたり話し掛けたりする <p>《みんなが遊ぶ楽しさを味わい、自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりクラスのつながりを感じるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じて必要な言葉を使う ・相手の思いに気付いて言葉を掛ける「どうした? 一緒にしようよ」等 ・砂場遊び(団子作り・山、川作り、ダム作り) ・猛獣狩りゲーム ・じゃんけん汽車 ・大型積み木や巧技台 ・転がしドッジボール ・グループじゃんけん ・椅子取りゲーム ・体操する ・グループでこいのぼりを作る ・♪友達になるために ♪畑のポルカ ♪世界中の子供たちが ♪歌えばんばん <p>《相手に対応して動いたり、触れ合ったりする楽しさを感じられるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンス「トレロカモミロ」「ラウンドチェーン」「あははのおぼけ」「よろしくね」 	
	学び	<p>《いろいろな素材に触れ自分なりに試したり工夫したりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラービニールや紙、布、サーフェル紙等 ・空き箱制作 ・ごっこ遊びに必要なもの <p>《イメージや言葉を豊かにする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを人の前で言葉で伝えようとする ・いろいろな体験で感じたことを言葉で表現する ・相手の気持ちを察しようとして言葉を掛ける ・十分に表せない幼児には保育者が補ったり、クラスの幼児が考えたりして友達の表したいことをクラス全体で分かり合えるようにする <p>《話を理解しイメージを広げて楽しむ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いやいやえん」「おいしいのぼうけん」「じごくのそうべえ」「こすずめのぼうけん」「ぼく だんごむし」「わんぱくだんシリーズ」 <p>《自然に触れ、考えたり、試したり、遊びに取入れたりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗植え、種まき、水やり、花びら、ダンゴ虫、雑草、蝶の幼虫、野菜(豆やイチゴ等)の収穫 <p>《友達とのやりとりを楽しむ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなごっこ遊び・グループの名前を決める・グループでこいのぼりを作る <p>《遊びや生活の中で、色、数量、図形、形、文字等に興味・関心がもてるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり作りの中でいろいろな、色、形、数等や新しい素材に触れる ・遊びを進める中で、必要に応じて文字を読んだり、書いたりする ・身近にある標識や記号などを意識したり、調べたりしながら考えたり人の話を聞いたりする 「ざりがに」 図鑑(動物・植物) 	

幼児教育 六つの取組 の内容	規範意識の芽生の育成	こころざし教育	食育	体力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる ・どうしたらよいか考える中で友達の思いに気付いたり自分の考えを伝えたりする ・相手の表情や態度に関心をもち思いを察しようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳時に経験したことをクラスで繰り返しながつながら感じクラスの一員としての気持ちや自分たちの成長を感じたりする ・前年度5歳児の当番を引き継ぎ責任と嬉しさを感じてすすんで取り組もうとする ・訪れた前年度5歳児に憧れの気持ちをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の準備や片付けなどを自分から行う ・野菜の栽培をする中で、生長に気付き、自分の体や食物に関心をもつ ・弁当や給食を作ってくれた人への感謝の気持ちをもつ ・箸を正しく使い食事の時の声の大きさやマナーに注意して食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い切り体を動かして遊んだり、自分の力を試したりする ・すすんで戸外に出て友達と体を動かして遊ぶ心地よさを感じる ・今までの遊びをしたり新しい遊びに挑戦したりする

幼児期に育みたい資質・能力

知識技能の基礎
 思考力・判断力・表現力等の基礎
 学びに向かう力・人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

アプローチカリキュラムで大切にしたい活動のポイント

生
人
学

- ・すすんで活動に取り組むことで子供が成長を実感できる活動
- ・身近な人々や友達と触れ合いながら共感したり、親しんだりできる活動
- ・新しい環境に興味をもって取り組む活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・年長児になった喜びを味わい、新しい生活の場を必要に応じて保育者と共に作り、安心して過ごせるようにする①②
- ・新しい生活の環境に自分の所持品の収納の場が位置付いていくことで、整理整頓にも意識がもてるようにする②
- ・自分のできることをやっという気持ちを受け、いろいろな場面で「自分で決めた」という思いを実感できるようにする①②
- ・新しい環境に緊張感をもつ幼児もいるので、場や時間にゆとりをもたせて設定し、生活の流れに沿って伸び伸びと安定して過ごせるようにする①
- ・しっかりと挨拶する心地よさを感じられるように、保育者から積極的に幼児や保護者に挨拶し、親しんでいく④⑨
- ・生活や遊びのきまりを確認し、話し合って決めたことなどは、絵や図、文字などで分かりやすく知らせていく③④⑧
- ・健康で衛生に気を付けた生活に関心に向けていけるように、トイレや身のまわりの始末等きめ細かな指導を重ねる①②
- ・新しい遊具の遊び方や片付け方が分かるような機会や場を作り、自分たちなりに環境に関わっていく楽しさが感じられるようにする①③
- ・一人一人の幼児の気持ちや考えを理解して受け入れ、幼児が安心して自分を表せるようにする①⑩
- ・前年度5歳児や地域、身近な人との触れ合いの場を意図的に作り、親近感やあこがれをもたせていく⑤
- ・相手の思いを感じ取れるように相手の表情や動きに目を向けさせ、相互に伝え合う場を作る⑨
- ・人と触れ合う姿や相手のために動こうとしている姿を具体的な言葉で認め、人と関わる楽しさや喜びが感じられるようにする⑤
- ・新入園児との関わりで気付いたことや困ったことをクラスの中で取り上げ、相手の年齢や思いに沿った関わり方をするように気付かせていく⑤
- ・グループのメンバー構成は一人一人が自分を出しやすいように配慮する
自分の思いや考えを出しながら一緒に進めていく方法を伝え、共にできた喜びが感じられるようにする③⑤⑨
- ・環境の変化により遊びが見つからない幼児もいるので、一日の中でクラス全体で遊ぶ時間を設定し、クラスとしてのつながりや遊びの楽しさを共感できるようにする①
- ・自分なりにイメージを実現しようとする姿を受け止めながら一人一人の思いや表現を言葉で表したり、一緒に動いたりする⑩
- ・新しい遊具の遊び方や片付け方が分かるような機会や場を作り、自分たちなりに環境に関わっていく意識を育てる①②
- ・身近な飼育物や植物等に興味・関心をもち喜んで世話や手入れができるよう保育者自身が対象に丁寧に関わり、幼児にとってのモデルになるようにする⑦
- ・人との関わり場面に応じて、伝えたいことを言葉にできるように一緒に考えたり、言葉を補ったりして、必要な言葉を遣えるように援助する
相手の気持ちや思いを想像できるように働き掛けていく⑤⑨
- ・生活や遊びの中で、必要感に基づく体験を大事にし、色、形、数、文字等に興味をもつような環境に配慮する⑧
- ・身近にある自然物の様子を見て関心をもてるように、自然物の絵本、図鑑や虫めがねを用意したり、写真を提示したりする⑥⑦

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・新しい生活の場や遊具に慣れ自分なりに動いたり使ったりする
- ・手洗い、うがいなど必要に応じて自分からする
- ・新しい環境で身の回りを清潔にし、片付け、整理する
- ・状況に応じて衣服の着脱等をしようとする

地域財産の活用

- ・地域の本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ
- ・地域の祭りに親しむ
- ・桜橋花まつり、浅草流鏑馬、三社祭等
- ・地域の公園に遊びに行ったり図書館に行ったりする
- ・挨拶運動や園行事に参加する
- ・地域の方々へ親しみを覚える

一人一人の生活習慣等の実態を捉えつつ保育者は焦らず指導や援助の定着を図っていく。
 年長児になった喜びを共感し、幼児の誇らしい気持ちに寄り添いながら、繰り返し指導を重ね、幼児の生活習慣の定着を図る。

Ⅱ期 (6~9月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな心と体を持ち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心を持ち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心を持ち、自ら考え、豊かに表現する子供 		
期の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生・生活に必要なことを自分から進めたり、いろいろな運動や活動に参加したりする 人・自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いや考えを受け止めようとしたりする 学・クラスのみんなでする遊びを楽しむ中で自分の力を発揮しようとする 学・目的をもって遊びを考えたり工夫したりして、自分なりにやり遂げた満足感を味わう 			
3 人 の か か わ り の 柱	<p style="text-align: center;">《経験の内容》 主な活動例 保育教育資料</p> <p>《季節の変化に合わせた健康管理ができるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがいの励行、汗の始末、衣服の調節や着脱、水分や休息の取り方、体調の変化など自分から気付いて保育者に伝えようとする <p>《毎日の生活の仕方が分かり、自分たちで進めていけるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日の傘の始末 ・プール遊びの身支度(水着、着替える、など手順が分かり自分から行う、脱いだ服を丁寧に畳むなど) <p>《生活の中で必要なことを、自分たちで互いに声をかけ合い行っていこうとする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番活動 掃除(雑巾しぼり、雑巾がけ) <p>《みんなで気持ちよく生活できるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室の整理整頓に気付く(絵本の破損、椅子の片付け方、積木や共有棚の整理など) <p>《季節ならではの遊びを通して思いきり体を動かせるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール遊び(宝探し・ペットボトルで浮いてみよう・フープくぐり・流れるプール・ワニ歩き・ホースの水くぐり等) ・水遊び(水鉄砲・魚つり・手作り船・色水)・スライム(片栗粉スライム)・泥粘土遊び・フィンガーペインティング <p>《友達とのつながりを感じながら、自分の力を出したり、思いきり体を動かしたりできるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷鬼・助け鬼・折り返しリレー・ドッジボール・ひとり鬼・バナナ鬼・マットのぼり棒・雲梯・ケンケンパ・綱引き・的あて・玉入れなど 			
	<p>《ルールを守ることで遊びの楽しさが増すことを実感し自分の力を発揮できるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラインサッカー、ドッジボール、じゃんけん鬼、リレー、助け鬼、ビリビリボールなど <p>《自分の気持ちや考えを言葉で伝えたり、相手の考えを聞いたりしながらイメージを共有し遊ぶ楽しさを味わえるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊び(おばけやしき・水族館・縁日・お店屋さんなど)・お話作り・合奏 <p>《グループで取組む中で、自分の力を発揮できるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な相談が必要な活動(グループじゃんけん・スリーヒントゲーム・合奏のパート決め・お話作りなど) <p>《友達と一緒に声を出し合い歌うことを楽しみながら、つながりを感じたり、自分の力を発揮したりできるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節のうた・イメージの広がりやすい歌(♪にじのむこうに♪にじ)・追いかけて歌(♪かえるの合唱♪森のくまさん)・合奏(身近な歌として親しんでいる曲) <p>《小学校・地域の方々、異年齢児と関わり、憧れの気持ちをもったり、思いの伝え方を知ったりできるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児との交流(縁日ごっこ、共通の体操をする、散歩に行く)・読み聞かせ交流・ボランティア ・職場体験・セーフティ教室・祖父母参観・高齢者施設訪問 			
	<p>《一人一人が十分に試したり工夫したりできるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作活動(空き箱・ごっこ遊びに必要な物・紙皿フリスビー・動く船作り・人形作り・水車作りなど) <p>《自分なりに課題を見付け、繰り返し取り組みながら、自分の力を発揮できるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾り(大きい見本や分かりやすい手順の掲示)・泥団子作り・鉄棒・縄跳び・雲梯・登り棒・フラフープ <p>《水にかかわり、自分なりに試したり工夫したりできるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色水遊び・水路作り・シャボン玉・泡作り・染め紙遊び・空き容器(マヨネーズ・ケチャップ・ペットボトル・牛乳パック等)の水鉄砲やじょうろ作りなど <p>《自然を遊びに取り入れ、試したり工夫したりできるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日探検(傘をさす、水たまり、雨粒、雨音など)・虫捕り(虫捕り網、飼育ケース) ・図鑑・新聞やDVDなどの視聴覚教材、宇宙に関する絵本など <p>《遊びや生活の中で、色、数、形、文字などに興味・関心がもてるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色が出る木の実や花・葉を使った色水遊び・砂場遊び(高低差を利用した川)・夏野菜の収穫 ・遠足、散歩時の道路の標識や看板・ごっこ遊びの看板作り・新聞紙じゃんけんゲーム 			
<p>幼児教育共通カリキュラムで重視する内容</p>	<p>規範意識の芽生の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の場でのきまりや行動の仕方を理解しみんなで気持ちよく生活できるようにする ・遊びに必要なルールを友達と考えたり決めたりしながら遊びを進める 	<p>こころざし教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士・教員や仲のよい友達にすすんで挨拶をする ・グループの友達に必要なことを伝え合いながら、自分たちで協力して当番活動をする ・児童、生徒、地域の方々との関わり、憧れの気持ちをもつ 	<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培している植物の収穫を喜び友達と一緒に何でも食べてみようとする ・栽培、収穫、味わうこと等を体験し野菜が体の成長にとって大切な食べ物であることを知る ・栽培を通して世話をすることの大変さを実感し、作ってくれた人への感謝の気持ちをもつとともに食べ物を大切にしようとする 	<p>体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とのつながりを感じながらリズムカルな動きをしたり、思いきり体を動かしたりして遊ぶ ・いろいろな運動に興味を広げ、十分に体を動かして遊ぶ ・自分の目標に向け挑戦し、できた満足感を味わう

幼児期に育みたい資質・能力

知識技能の基礎
思考力・判断力・表現力の基礎
学びに向かう力・人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

アプローチカリキュラムで大切にしたい活動のポイント

- 生**・興味をもったことや好きなことを選べる多様な教材や活動
人・多様な感情体験を味わい、自分を表現しながら、友達との関わりを楽しむ活動
学・自分なりの課題をもって繰り返し取り組み自分の力を発揮する活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・自分から気付いて衣服の調節や汗の始末、水分補給や休息などができるように保育者自らが自分の動きで示したり、自分から行動している幼児を認めたり、クラスで話を取り上げたりする①⑤⑨
- ・生活に必要なことやグループの活動などを自分たちで気付いてできるよう時間に余裕をもち、やり方が分からない幼児には、友達同士で伝え合えられるように声を掛けていく②③⑨
- ・保育室や遊具・教材等を共有する意識をもてるよう、物を大切に扱ったり、きれいに整えたりする保育者や友達の様子を見て、気付いたり、必要な時に手伝おうとしたりする姿をその時々にも認めていく④⑤
- ・プール遊びや水遊びは、安全面や衛生面に十分配慮しながら一人一人が目的をもって楽しめるようにする
小学校や区内施設の大きなプールを使用する場合は、一人一人の安全意識を確認しながら、指導する①②
- ・プール遊びのゲーム内容を幼児と一緒に考えたり、保育者もゲームに仲間入りしたりしながら全身を使って存分に水に親しめるようにする①⑥⑨
- ・戸外(猛暑やひなた・日陰)、室内(風通しや冷房)等を意識し、安全面への配慮をする 幼児の動線を考え、安全な遊び方に気付けるよう、幼児が場のとり方、ルールを考えたり決めたりできるように声を掛けていく①⑦
- ・遊びのルールが分かったり、共通のルールで遊ぶ楽しさを感じたりできるような環境を作る(自分たちで用意し進められるように、取り出しやすい場所に用具を置いておく)②③
- ・友達と意思を出し合ったり、受け入れ合ったりして、遊びが進めていけるよう一人一人の動きや言葉を他の幼児にも具体的に伝えたり、認めたりする 遊びに必要な場や物作りが出来る材料や用具を用意する②⑨
- ・グループでの活動を意図的に取り入れ、自己発揮しやすい環境を作り、友達と力を合わせることで、できた、楽しかったという思いをもてるようにする③⑨⑩
- ・力を発揮している幼児の姿を認め、周りの幼児にも伝えていくことで自分の力を発揮する喜びを感じられるようにする②⑨
- ・優しく接したり、相手に分かるように表現したり、相手によって対応を変える必要があることに気付かせていく②⑤
- ・一人一人が十分に試したり、工夫したりできるような時間を保障しながら、素材や用具・遊具を準備し、その面白さや扱い方を知らせていく。
友達の姿に刺激を受けて、自分なりに繰り返し取り組んだり、教え合いながら作ろうとしたりする姿を認め、より興味・関心がもてるようにしていく②⑥⑩
- ・自分なりに取り組むことができる環境、挑戦できる環境を準備する②⑧
- ・保育者の投げ掛けにより決めた課題に力を発揮していることを、周りの幼児にも分かるよう言葉にして伝えたり、全体で見せる機会を作ったりして、一人一人が自分の力を出して実現していく喜びが感じられるようにする②⑩
- ・いろいろなことを試す中で、自分なりの課題に気付いたり、意識したりできるように、一人一人の興味や関心を捉え、疑問や思いに共感しながら、幼児の実態に合わせて、目的や期待感をもてるような投げかけをする②⑥
- ・自然物に関心や興味もてるよう幼児の気付きや行動に共感したり、つぶやきを言葉にしたりして、生態や特徴を知る面白さを感じられるようにする⑥⑦⑩
- ・飼育物や植物に興味・関心もち、友達と一緒に世話をしているように議題にしたり、状況を知らせたりして働きかけていく⑦
- ・生活や遊びの中で必要感に基づく体験を大事にし、数・量・形・文字・数字等に興味もてるように環境を整える⑥⑧

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・手洗い、うがいを必要に応じて自分から行う
- ・汗の始末や衣服の調節を自分で行う
- ・水分や休息の取り方に気付き、自分ですすんでしようとする
- ・自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える

地域財産の活用

- 地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ
- ・鳥越祭
 - ・四万六千日ほおずき市
 - ・隅田川花火大会
 - ・入谷朝顔祭りなど

生活や遊びの中で、興味をもったことや好きなことに、集中して取り組めるような環境作りが大切にしていく。

小集団やグループ活動をしなが、所属感がもてるような働きかけをして仲間意識を育てる。

Ⅲ期 (10～12月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○健やかな心と体を持ち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心を持ち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心を持ち、自ら考え、豊かに表現する子供
----------------	------------------------------	--

期の ねらい	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="204 255 245 369">生</td> <td data-bbox="245 255 1505 369">・生活の流れに見通しをもって、自分たちで生活や遊びを進めていく</td> </tr> <tr> <td data-bbox="204 300 245 369">人</td> <td data-bbox="245 300 1505 369">・共通の目的に向かって友達とイメージや考えを出し合いながら協同して遊びを進めていく楽しさを味わう</td> </tr> <tr> <td data-bbox="204 344 245 369">学</td> <td data-bbox="245 344 1505 369">・自分なりの課題に向かって試したり、周囲の人たちの気付きなどを受れたりしながら最後まで取り組む</td> </tr> </table>	生	・生活の流れに見通しをもって、自分たちで生活や遊びを進めていく	人	・共通の目的に向かって友達とイメージや考えを出し合いながら協同して遊びを進めていく楽しさを味わう	学	・自分なりの課題に向かって試したり、周囲の人たちの気付きなどを受れたりしながら最後まで取り組む
生	・生活の流れに見通しをもって、自分たちで生活や遊びを進めていく						
人	・共通の目的に向かって友達とイメージや考えを出し合いながら協同して遊びを進めていく楽しさを味わう						
学	・自分なりの課題に向かって試したり、周囲の人たちの気付きなどを受れたりしながら最後まで取り組む						

		《経験の内容》 主な活動例 保育教育資料	
3 柱	生活	<p>《見通しをもって、自分達で生活を進めていくように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日の大まかな流れが分かり、見通しをもって、友達と声を掛け合い状況に応じた行動をする(共同で使うものの準備や片付けをする…遊具、用具や身近な機器、教材など) ・朝の会の当番活動として、日、曜日、欠席調べなどをする(カレンダーの活用、♪カレンダーマーチ) ・グループの友達と役割を分担し助け合って当番活動をする(飼育物の世話や水やり、昼食の準備や後片付け、乳児の午睡手伝い、園舎や園庭見回り隊など) <p>《自分からすすんで挨拶をするように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達、身近な人々、近隣の人々に挨拶をする(「世界のあいさつ」♪あいさつ、♪みんなともだち) <p>《健康で安全な生活をする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた生活の仕方を(寒暖の差に応じた衣服の調整、手洗い、うがいがなど) ・自分の健康や病気の予防に関心をもつ(薄着に取り組む、体調が悪いときは大人に言う) ・災害時などの安全な行動の仕方が分かる(ビデオ視聴、避難訓練の約束「おかしも」を守る) ・遊具・用具・身近な機器そして教材類などを扱ったり、所定の場所に片付けたり状況に応じて、友達と協力したりして行う。 ・身の周りを整え、清潔にする(週末のロッカー整理、絵本の修理や整理、年末の大掃除などをする) ・交通ルールや公共のマナーなどに気を付けて行動する(信号を守る、図書館では静かにするなど) <p>《伸び伸びと体を動かし、いろいろな運動に興味をもち、自分の目標に向けて挑戦し、達成感や満足感を感じるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と競い合ったり、協力しあったりして、戸外や室内で運動遊びを楽しむ(マットや巧技台、縄などを使った遊び、リレー、ドッジボール、フラッグボール、サッカー、宝とり鬼、三すくみ鬼、手つなぎ鬼など) 	
	人との かかわり	<p>《友達と目的に向かってイメージを出し合い、一緒に進めていく楽しさや、力を合わせてやりとげた達成感や充実感を味わう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、発表会、作品展などでは、友達とイメージを出し合いながら役割分担をして進める(お話し作り、リレーの順番の決め方、共同制作のやり方など、互いに思いを伝え合って決める「エルマーシリーズ」♪パブリカ) <p>《みんなで取り組む中で自分の力を発揮し、互いのよさを認めて折り合いをつけながら気持ちや動きを合わせる楽しさを味わうように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(お芋パーティー、レストラン、お店屋さん、水族館ごっこや、鬼ごっこやボール遊びなどで、グループで相談して進める遊び) <p>《みんなですることが必要なことや苦手なことでも自分から取り組もうとするように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのときにすることが分かり、自分から行動しようとする。(ルールを守り、グループの一員としての役割を果たす) <p>《異年齢児と関わる中で、人の役に立つことの喜びや頼られる嬉しさを感じるように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊びながら、遊びを教えてあげたり、園外保育に行ったりする(運動会ごっこでのお父さん、お母さん役、お店ごっこなどでお客さんに優しく接する「てとてとてとて」、「スイミー」) <p>《小学生や地域の人々との関わりを楽しむように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の運動会や学芸会などに参加する(♪始まるよはじまるよ「プレーメンの音楽隊」) ・就学時健診を受けたり、交流活動で小学生と触れ合って遊ぶ(運動会の応援のやり方を教えてもらったり、体操やダンスなどを一緒にしたりする) ・地域の人々と触れ合い、親しみをもつと共に、自分たちが大切にされていると感じる(ディサービス訪問、地域の人と遊ぶ会、近隣の施設(郵便局、図書館、児童館や公園等、お茶の会、伝承遊びや昔話を聞く会などでの触れ合い「ぼくのおじいちゃん」♪茶つぼ♪おせんべやけたかな) 	
	学 び	<p>《自分なりの課題に向かって考えたり試したりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会に必要な物と考え、意見を出し合いながら、分担したり、協力したりしながら進める(鉄棒、縄とび、大縄飛び、お話し作り、劇遊び) ・工夫して作ったり試したり、友達の気付きを取り入れながら、最後まで取り組む(指編みマフラー作り、雑巾縫い、木の実や木の葉を使った制作…コマやリース作り、投げコマなど「おおきなおおきなお芋」「オズの魔法つかい」) <p>《文字や数、量、図形、標識などに興味をもち、取り入れて遊びを楽しむように》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しりとり遊び・年賀状・カレンダー作り、さつまいもの収穫(芋の数、大きさ、形、重さなど)、木の実・落ち葉あつめ、形、大きさ、種類分けなどをする ・街の看板や標識(マンホールの形や記号、模様、郵便局のしるしなど。♪アの字がつくから～あいうえおの歌「どんぐり会議」「ひやしんす」) <p>《自分の思いや考え、経験したことなどを伝えるように話したり、友達の話を理解しようとしたり、分からないことを質問したりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気付いたことや考えなどをグループや皆の前で話す(「みんながおしえてくれました」「ともだちや」シリーズ) ・友達の話を聞いて分からないことは、質問したり、一緒に考えて提案したりする ・運動会や生活発表会、作品展などのやり方や役割分担などを相談をする(年長児だからできること、やりたいことを相談する) ・大掃除やお正月を迎える準備や、年下のクラスで困っていることなどを互いに話し合っ進めたり、お助け隊になって出掛けたりする <p>《季節による自然や街の様子の変化に気付き表現したり遊びに取り入れれたりする》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝顔、風船がずらの種とりや芋ほり、落ち葉や木の実拾いなどする ・自然物を使って造形や遊びに使うものを作る(ポンドを使って木の実や落ち葉で作品を作る。コマやお面、リース作り、じゅずだまをつなげるなど) ・秋から冬にかけての空や雲の様子や台風や木枯らしに興味をもって見たり、感じたりする(秋・冬の気象図鑑・くもの図鑑) ・水栽培や春咲きの球根植えをす(ヒヤシンス、クロッカス、チューリップ、水仙など「ヒヤシンス」「水仙」) ・友達の気付いたことなどから興味・関心を広げ図鑑や絵本、DVDなどをみてお話を作ったり劇遊びなどをしたりする ・暮れの街の様子に興味をもって散歩に行ったり、いつもと違う店の様子などを話しあったり遊んだりする ・季節の行事に興味をもつ(お正月の準備、年賀状、おせち料理、お正月のあいさつ、鏡もち、七草、鏡開きなど) 	

幼児教育 共通カリキュラム 六つの取組	規範意識の芽生の育成	こころざし教育	食育	体力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう ・きまりを守らないと嫌な思いをしたり、皆に迷惑を掛けたりすることに気付き、守ろうとする ・友達と生活や遊びを進める中で自分の気持ちや考えを出し、その上で自分の気持ちに折り合いをつけようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・元氣よく挨拶や返事をする ・生活や遊びの中で、人の役に立ったという思いを味わう ・地域の方と喜んで関わり、親しみをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守って友達と一緒に楽しく食事を ・調理している人に感謝の気持ちを持ち残さず食べる ・栽培物の収穫を通して自分で育てた喜びや食べるうれしさを感じる ・季節の行事に参加して行事食を食べることを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動に興味をもちすすんで行う ・友達と競い合ったり協力しあったりして、戸外や室内で運動遊びを楽しむ ・友達と一緒に体を思いきり動かす心地よさを味わう ・自分の目標に向けて挑戦し自信をもつ

幼児期に育みたい資質・能力

知識技能の基礎
 思考力・判断力・表現力等の基礎
 学びに向かう力・人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

アプローチカリキュラムで大切にしたい活動のポイント

- 生**・周囲や友達の状況を受けとめながら、互いに思いを出し合ったり、体を思いきり動かす心地よさを感じたりできる活動
人・クラスや園全体で取り組む中で、みんなで気持ちを合わせ、やり遂げる楽しさを味わう活動
学・身近な事象や友達の活動の様子などから、気付いたことや課題に向けて工夫しながら取り組む活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- 一人一人の幼児が、十分活動を楽しめる場や時間の保障とともに、友達との会話や交渉などを通して、つながりを実感できる生活の展開に配慮する②③⑨
 - 生活に見通しがもてるように、生活の流れや活動の内容などを時計の針の表示や図などで知らせていく①⑧
 - 月、日、曜日、時間などを、幼児の目の届きやすいところに表示し、カレンダーや月日の流れなどにも関心をもつように促す⑧
 - 当番活動では、メンバー全員が役割を意識し、互いに助け合い、苦手なことにも取り組んでいる姿を認め励まし、自信や責任感を育てる③④
 - 自分から挨拶することの気持ちよさを実感できるような場や機会を作ったり、日常的に自然に挨拶をする幼児の姿を認めたりしていく②⑤⑨
 - クラスで話し合う時は、相手の話を最後まで聞き、話が終わってから自分の考えを話すことなど発言の仕方を日常生活を通して知らせていく③⑥⑨
 - 生活や遊びを自信をもって自分たちで進めていこうとする態度を認め、さりげなく見守りながら、課題達成に向けて必要に応じて援助する②③⑥
 - 季節や寒暖の変化、体調などに対応する他児の姿を認めたり、保育者の意図的なつぶやきなどを通して健康で安全な生活への意識を高める①②
 - 避難訓練では、自分の命は自分で守ることが基本であることを意識付けし、年長児としてモデルとなる行動をとるようにしていく①②④
 - 身の回りを整理整頓して、清潔な環境で生活する気持ち良さや、生活のしやすさを感じたりできるように、具体的な幼児の姿から認めて意識を高め、一人一人の幼児に習慣として身に付くように見守り援助していく①②
 - 自分の課題に向かって、繰り返し取り組もうとする姿を十分に認め、励ましながら自信や意欲をもてるようにする②⑥
- 話し合いでは一人一人のイメージや、みんなで作り上げたイメージなどをまとめながら、自分たちで取り組んだ充実感が味わえるように援助する③⑨
 - 一人一人が頑張っているところや、力を発揮しているところを認め、全体に伝えながら、友達のよさに気付くようにする。②⑥⑨
 - 友達の力を認め合い、つながりを感じながら、自分の力を発揮する楽しさを味わえるような運動遊びの場、遊具、用具の準備と共に、身近なごっこ遊びが充実するように配慮する③⑤⑥
 - 自分たちで進めていこうとする姿を認めながら、一人一人の思いや考えが出せているのか、話の内容や目的が共通になっているのかなどを捉えて援助する②③⑨
 - 遊びの中で状況に応じて、考えたり、気付いて行動することや自分で気持ちを切り替えたり、感情の調整をしたりすることを知らせていく②③⑥
 - 思いや考えを自分の言葉で相手に伝えられるように、言葉を付け足し、確認しながら、幼児の言葉を引き出していく⑨⑩
 - 友達との関わりの中で、善悪の区別や相手の立場に立って考える機会を作り、クラス全体で振り返り、幼児が自分で考えようとする態度を育てていく④⑥
 - 機会ごとに年下の友達に優しく関わる姿を認め、年長児としての自覚や自信を深める②④
 - 小学生に憧れている幼児の思いを伝えたり、小学生の優しさを実感する場を捉えたりして、触れ合い活動が充実するように、教師と保育者が連携をとる④⑤⑨
 - 幼児が身近な公共施設や周囲の人々に関心や親しみをもつように身近な情報を伝え、保護者にも公共施設や町会のイベントなど子育てに役立つ情報を知らせる④⑤
- 一人一人が自分の課題に向かって繰り返し挑戦する姿を励まし、認める②⑥
 - 一人一人の取り組みの姿を全体に伝えたり、友達からの励ましなどを伝えたりしながら、クラス全体で粘り強く最後までやり遂げようとする気持ちを育てていく③⑥
 - 自分のしたいことやイメージを表現できるように、グループの相談にのったり、アイデアを提供したりしていく
 表現する事の楽しさやみんなで考え合う楽しさや面白さを言葉や踊り、劇などで表していけるようにしていく③⑨⑩
 - 一人一人の力が合わさって「チーム」の力になることを場面を捉えて伝える機会やゲームの中で作戦タイムの時間を意図的にとったり、互いの動きを見せ合う場や機会を作ったりする③④
 - 文字や言葉、数字や図形などに興味・関心が高まるような環境を作り、身近に触れたり、試したりできるような教材も準備する⑧⑨
 - 生活の中で物の性質や仕組み、文字、数量、記号等を通して友達の考えを聞いたり、認めたりしながら、自分の考えを伝えたり深めたりできるような環境を作る(図書、実際に確かめる場、時間等の配慮)⑥⑧⑨
 - 自分の考えを伝えると同時に、相手の意見を聞くことの大切さも知らせていながら、自分たちで問題や課題を解決へと進むように援助していく③⑧⑨
 - 自分の考えを素直に表現したり、相手の話をじっくり聞く態度をじっくり時間をかけて育てていく⑥⑨⑩
 - 気象の変化(台風、寒さ、風の強さ、雲の様子、春咲き球根等)を感じとれるような環境構成に留意しながら、幼児が身近に自然や命の不思議さに関心をもつように配慮する⑥⑦
 - 自分のできることに自信をもって取り組むことや挑戦する姿を認め、幼児同士が認め合い、励まし合う意識や態度を育てる②③⑥
 - 自然の変化や身の回りの社会の様子やニュースなどに興味や関心に向け、探究心をもつように、実体験や人との触れ合いを増やしたり、視聴覚教材などを活用していく④⑤⑩

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- 季節に応じた生活の仕方を考え、実行していくようになる
- 自分の健康や病気の予防等に関心を持ち、手洗い・うがい、衣服調整等を行う
- 自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える
- 身の回りを清潔にしたり、整理したりすることができる
- 自分の思いや考えを相手に伝えるように考えて話す
- 相手の話を聞く必要性や聞く楽しさが分かる
- 話(会話・絵本・童話)の内容を理解し、言葉の使い方・楽しさ・美しさに気付く
- 季節の変化に気付いて、表現したり、自然物を取り入れたりして遊ぶ
- 自分なりの課題に向かって試したり、工夫したりしながら、最後まで取り組む
- 工夫して作ったり試したり、友達の気付きを取り入れたりする

地域財産の活用

- 地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ
- へちま供養
 - 金壺の舞
 - 白鷺の舞
 - 西の市
 - 歳の市(羽子板市)
 - 除夜の鐘 など

共通の目的に向かい、グループやクラスで取り組み、協力やルールの大切さを実感させる。
 責任感や達成感を感じながら集団の一員としてのつながりを自覚する場を設定する。

IV期 (1~3月)	台東区の 幼児教育が めざす 子供の姿	○健やかな心と体を持ち、きまりを守り行動できる子供 ○やさしさや思いやりの心を持ち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ○自然や身近なことに関心を持ち、自ら考え、豊かに表現する子供
---------------	------------------------------	--

期の ねらい	<u>生</u> ・就学への期待を持ち、自分から周囲の状況を判断しながら見通しをもって生活を進めていく <u>人</u> ・友達のよさを認め合ったりつながりを深めたりしながら、遊びを進めていく <u>学</u> ・課題に主体的に取り組み乗り越えた満足感を味わい成長の喜びを感じる
-----------	---

		《経験の内容》	主な活動例	保育教育資料
3 人 の か か わ り の 柱	生 活	《修了に向けて活動に見通しをもち意欲的に取り組む》 ・1月～3月のカレンダーを通して、修了までの行事等を知り生活に見通しをもつ 時計・日程表・カレンダー ♪火水木金土日のうた ♪1年のうた ・登降園、好きな遊びや課題活動など、大まかな生活時間の流れが分かり行動する ・当番活動では時間を意識しながら互いに分担し合っって丁寧に取り組む 飼育物の世話 食事の用意 《自分から気付いて身の周りに注意する》 ・交通安全のきまりや約束を守る(横断歩道の渡り方、信号のない道の歩き方、通学路の歩行訓練) ・警察の方から園外での歩行訓練を受ける 《冬を健康に過ごすことに気を付ける》 ・手洗いやうがい、衣服の調節等をすすんで行う 《自分の健康に関心を持ち、生活習慣として取り組む》 ・手洗い、うがいの励行、薄着を心掛ける ・自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える 《寒さに負けず自分の課題をもって様々な運動遊びを楽しむ》 ・自分たちでルールを確認したり、新しいルールをみんなで決めたりして遊ぶ (三すくみ鬼、助け鬼、アイスホッケーごっこ、ドッジボール、縄跳び、凧揚げ、陣取りなど) ・共同の遊具や用具を大切に、安全に使う 段ボールカッター・ボンド・粘着テープ		
	人 の か か わ り	《友達と互いに折り合いを付けながら遊びに取り組む》 ・集団遊びやごっこ遊びの進め方や役割分担などの話し合い ・友達が困っていることに共感したり、解決に向けて提案したりする 《自分の成長を感じたり、人の役に立つことの喜びを感じたりする》 ・誕生会の司会や当番活動などを年中児へ引き継ぐ ・修了に向けて年下の友達の喜びそうなこと、役に立つことなどを考えて行動する(お別れ遠足・修了記念のプレゼント・大掃除の手伝い・図書の手伝い等) ・地域の方をごっこ遊びに招く(遊園地ごっこ・かるた大会・ミニ発表会等) 《自分からすすんで挨拶をしたり、相手に応じた行動をとったりする》 ・あいさつ運動のリーダーになる 年下の友達や乳児、お年寄りへの接し方を考える 《修了に向けて、今までお世話になった周りの人に感謝の気持ちをもつ》 ・入園から修了までを振り返り、自分や友達の成長に気付き、身の周りの人の思いや応援してくれたことを話し合い感謝の気持ちをもつ ・どのように感謝の気持ちを伝えるのかをクラス全体で話し合う		
	学 び	《自分やクラスの課題に向かって、試したり、工夫したりしながら、最後まで取り組む》 ・投げコマ、縄とび、鉄棒、凧揚げ、あみもの、鬼の面づくり、ひな人形作り 《クラスやグループで取り組む活動に自分の力を発揮する》 ・遊園地ごっこ ・劇場ごっこ ・すごろく作り ・かるた 《就学への期待をもてるようにする》 ・学校探検、体験給食を通して学校の環境や学校生活の場面に触れる ・学校ごっこ、ランドセル作りなどを通して、入学への期待を高める ・修了式への参加の仕方などを理解し、修了への嬉しさを感じる ♪みんなともだち ♪はじめの一歩 ♪世界中のこどもたちが ♪おひさまになりたい 《生活や遊びの中で、文字や数字などを読んだり、書いたりする楽しさを感じる》 ・しりとり、言葉集め、カルタ遊びなどを通して、文字に興味をもち、調べたり、聞いたりしながら書く ・アルバム作り、文集作り、制作物などのまとめをして、自分の名前を丁寧に書く 《自然事象を通して季節の変化を感じられるように》 ・季節の移り変わりを風や空気の冷たさ、日差しの暖かさで実感する ・氷作り ・雪に触れる ・霜柱 ・風 ・星 ・ヒヤシンスの栽培、チューリップの芽、小動物の冬眠など		

ラム で 重 視 す る 取 組 内 容	規範意識の芽生の育成	こころざし教育	食育	体力の向上
	<ul style="list-style-type: none"> 社会の基本的なきまりを理解し、自ら守ろうとする 簡単なルールを作り出し、友達と一緒に遊びを發展させる中で、そのルールを守ろうとする よいこと、悪いことに気付き、考えながら行動する 互いに気持ちよく過ごすために、自分の気持ちや行動をコントロールしようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 元氣よく挨拶や返事をする 生活や遊びの中で、人の役に立ったという思いを味わう 1年生になることに喜びや期待をもち自信をもって行動する 自分の成長を感じ、周りの人への感謝の気持ちをもつ 地域の方と喜んで関わり、親しみをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の大切さが分かり、マナーを守って楽しく食事をする 体と食物の関係に関心をもち自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちをもつ 季節の行事に参加して行事食を食べることを楽しむ いろいろな食べ物に興味・関心をもち自分が食べている物の名前が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊具や用具を使い十分に体を動かし、集団遊びを楽しむ 自分の目標に向けて挑戦し、自信をもつ 友達と誘い合い、戸外での遊びを楽しむ

幼児期に育みたい資質・能力

知識技能の基礎
 思考力・判断力・表現力等の基礎
 学びに向かう力・人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
 ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

アプローチカリキュラムで大切にしたい活動のポイント

- 生** ・修了や就学に向けて、クラスで集まり落ち着いて取り組む活動
人 ・互いに思いを伝え合い認め合い友達とのつながりを感じられる活動
学 ・共通の目的や課題に向かってやり遂げた喜びを味わう活動

環境や援助、幼児期の終わりまでに育てたい姿との関わり

- ・小学校入学までの行事、活動を幼児と共にカレンダーに書き、見通しがもてるようにする②⑥⑧
- ・修了、入学に向け一人一人の生活習慣の自立や安全に対する意識の育ちなどを確認し、身に付いている点を大いに認め、幼児の自信につなげる①②
- ・早起き、食事、整理整頓など、修了までに身に付けて欲しい点について、幼児から引き出ししながら、望ましい習慣や態度への意識を高めていく①②
- ・模擬的な交通標識や信号等を用いて園内で安全指導を行う⑥⑧
- ・メディアの情報を幼児にも理解できる範囲で取り込み、幼児なりに冬季の健康への関心を高められるようにする①⑦
- ・修了までの日数への関心を高め、元気に通園できるように幼児なりに気持ちを向けられるようにする①②
- ・修了までの日数を確認し合い、楽しかったこと、面白かったこと、頑張ったことなどを振り返り、充実感を共有する。
特に楽しかったことをみんなで再現して遊べる時間を保障し、楽しさへの共感を深め、園生活の充実感につなげていく①③⑨⑩
- ・自分たちで遊びを作る楽しさや充実感が味わえるように、自分の思いや考えを出し合ったり、受け入れ合ったり、認め合ったりして遊びを進めていけるようにする①③⑤
- ・互いに意見を出し合いながら、相手の考えのいいところ、工夫しているところに気付くようにする⑥⑨
- ・幼児同士で十分に思いや考えを出し合う機会を保障し、やり取りの中で状況を判断し、自己コントロールできるような場を設けて、そのような姿を十分に認めていく③⑥⑨
- ・クラスの目的に向かってグループで取り組む中で、自分の役割を理解して、友達との考えを行き交わしながら進める・取り組んだことが形になっていくことを喜び合えるようにする③⑨⑩
- ・具体的な出来事を思い出す中で、自分の成長を実感できるようにする
クラスの友達と思いを共有しながら、友達の成長について共に喜び合えるような場を作っていく①⑤⑨
- ・園生活を振り返る中で、様々な人たちにお世話になったことへの気付きを引き出し、感謝の気持ちをもてるようにする⑤
- ・地域の方々にも目を向けられるようにして、高齢者をはじめ、様々な立場で活動している人々とのつながりを感じていけるようにする⑤⑨
- ・一人一人の幼児の気付いたことや、思い、感動などをしっかり受容し、全体に返したり、広めたりしながら、幼児が自信をもって行動できるように働き掛ける②⑥⑩
- ・自分なりに考えたり、試したり、挑戦したりすることで繰り返し楽しめる材料や場を用意するとともに取り組める時間を保障する⑥
- ・表現しようと思うものの実現に向けて、様々な材料、用具を自由に扱える環境を用意する③⑥⑩
- ・コマ回し、縄跳びなど、進歩の状況を捉えてみんなで見合う場を設けて相互に認め合えるようにする①②
- ・じっくり試したり、繰り返し取り組んだりする時間や場の設定に配慮し、様々な事象への興味を高めていく機会を生み出していく⑥⑨⑦
- ・この時期ならではの自然事象に触れたり、不思議を感じたりして、すすんで関わろうとする姿を引き出していく⑥⑩
- ・遊びや生活の中で、文字への興味が高まるような環境を用意して親しんだり、取り組んだりできるようにする⑥⑧
- ・飼育物、栽培物などの引継ぎを通して、取り組んできたことを相手に分かりやすく伝えるために順序立てて話したり、視覚的なものを活用したりする方法を身に付けていけるようにする⑥⑧⑨

生活習慣・学習習慣の共有化・段階化

- ・自分の思いや考えが相手に伝わるように考えて話す
- ・相手の話を聞く必要性や聞く楽しさを感じる
- ・話(会話・絵本・童話)の内容を理解し、言葉の遣い方・楽しさ・美しさに気付く
- ・友達と共通の目的をもち、感じたことや考えを言葉で伝え、受け止め合いながら遊ぶ楽しさを味わう
- ・自分なりの課題に向かって、あきらめずに取り組みやり遂げた喜びを味わう
- ・動植物の変化に気付いたり、自然事象に興味・関心をもって、触れたり試したりする中で、美しさ、不思議さなどに気付き関心を深める

地域財産の活用








- 地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ
- ・七福神めぐり
 - ・豆まきの会
 - ・針供養
 - ・江戸流しびな
 - ・金竜の舞 など

幼児が自分の力を発揮できる活動を精選していく。取り組みの中で、幼児のよいところ、得意な点を捉え、幼児同士認め合えるようにする。周囲から認められる経験により、幼児は自分への信頼感を高め、「小学校」という未知の世界への期待感を膨らませることができる。

<幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携>

期		連携のねらい	幼児と児童の交流例	保育者と小学校の教員の交流例
Ⅰ期 (4月～5月)	園児	・小学校や小学生に興味・関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の運動会練習の見学(5月) ・小学校の運動会への参加、参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式への参列、手伝い ・小学校1年生の授業参観と意見交換会 ・年間交流計画の打合せ ・「連携の日」
	小学生	・幼稚園・保育園・こども園や幼児に興味・関心をもつ		
	保育者と小学校の教員	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の適応状況を把握し、園の指導の改善に生かす ・年間交流計画を確認し合い、見通しをもつ ・保育士・教員と意見交換して小学校の教育活動の改善に生かす 		
Ⅱ期 (6月～9月)	園児	・小学校や小学生に興味・関心をもち、関わりを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の運動会への参加、参観 ・「1年生の朝顔まつりに招待されたよ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の保育参観(6月～7月) ・保育園・こども園の保育参観(8月) ・交流活動の打合せ会 ・幼児同士の交流活動 
	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園・こども園の幼児に興味・関心をもち、関わりを楽しむ ・年少者に関わる中で、自分の成長を感じる(1年生) ・年少者に関わる中で自己有用感をもつとともに、最高学年に向けて責任感をもつ(5年生) 		
	保育者と小学校の教員	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の特徴や実態を把握し、指導観、指導方法、環境等についての共通理解を図る ・園の幼児の生活の様子を把握し、2学期の教育活動の打ち合わせを具体的に行い、幼児と児童の交流に生かす 		
Ⅲ期 (10月～12月)	園児	・小学生に親しみ、あこがれの気持ちをもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びでの交流(運動会) ・学習発表会や展覧会の参加、参観 ・交流昼食 	 <ul style="list-style-type: none"> ・運動会への参加、参観 ・合同研修会、情報交換会 ・今年度の交流の反省評価
	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・年少者にやさしく接し思いやりの気持ちをもつ ・自己有用感をもつ 		
	保育者と小学校の教員	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の特徴・実態を把握し指導観・指導方法・環境等についての共通理解を図る ・連携後、指導を見直し改善を図る ・互いの指導方法について理解を深める 		
Ⅳ期 (1月～3月)	園児	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生に親しみ、入学に期待をもつ ・自分の成長を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検 ・体験授業 ・交流給食 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度連携交流計画作成 ・入学に向けての情報交換会 ・幼稚園幼児指導要録、認定こども園こども要録、保育所児童保育要録の送付
	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・年少者にやさしく接し、自分の成長を感じ、自己有用感をもつ 		
	保育者と小学校の教員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度入学する幼児の実態や指導の接続を図る上で、必要な留意事項の相互理解を図る ・連携により得た情報を入学前後の指導に生かす ・互いの教育について理解を深める 		

<保護者・地域との連携>

期		連携のねらい	保護者の安心のための取組例	保護者・地域の交流 地域財産の活用
Ⅰ期 (4月～5月)	保護者	<ul style="list-style-type: none"> 園の教育方針、1年間の教育活動を理解し見直しをもつ 子供の発達や育ちを知り、就学前教育や家庭教育の大切さを理解する 保育士・教員に信頼感をもつ 家庭での生活状況を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会(4月)保護者向け「ちいさな芽」リーフレットの配布 家庭訪問 個人面談 保育参観、保育参加 園だより、学級だより等の配布物 	 <ul style="list-style-type: none"> 地域行事への参加(祭り) 動物園、博物館等の活用 近隣公園の活用 地域の図書館の利用
	地域	<ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や育ちを知り、就学前教育、園の教育活動や家庭教育について理解する 地域行事等で子供たちと関わり、親しみをもつ 		
	園児	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し地域への親しみをもつ 地域の方々と関わり、親しみをもつ 		
Ⅱ期 (6月～9月)	保護者	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の子供の成長を喜ぶ 夏休みを前に園との連携を密にする(幼稚園) 2学期の教育方針や教育活動について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会(9、10月) 保育参観 個人面談 災害時引取り訓練 園だより、学級だより等の配布物 	 <ul style="list-style-type: none"> 近隣公園の活用 地域の図書館の利用 清島温水プール、柳北スポーツプラザの活用 地域の行事への参加(祭り、朝顔市、盆踊り等)
	地域	<ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や育ちを知り、就学前教育や家庭教育について共通理解する 地域行事等で子供たちと関わり、親しみをもつ 		
	園児	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し、地域への親しみをもつ 地域の方々と関わり、親しみをもつ 		
Ⅲ期 (10月～12月)	保護者	<ul style="list-style-type: none"> 運動会や生活発表会等の行事への取組を通して子供の成長を感じる 交流のよさや小学校生活について理解する 基本的な生活習慣・学習面の資質能力について改めて考え、家庭での取組に生かす 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会、生活発表会等の参観、参加 小学生との交流活動の参観 園だより、学年だより等の配布物 	 <ul style="list-style-type: none"> 西の市、羽子板市の見学 図書館等の利用 近隣公園の活用(秋の自然)
	地域	<ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や育ちを知り就学前教育や家庭教育の大切さを理解する 地域行事等で子供たちと関わり親しみをもつ 		
	園児	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し地域への親しみをもつ 地域の方々と親しみをもって関わる 		
Ⅳ期 (1月～3月)	保護者	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の教育方針や教育活動について理解する 小学校生活や学習、入学前や入学当初の保護者の関わり方について理解する 子供の成長を園の保育者や保護者同士で喜び合う 	<ul style="list-style-type: none"> 入学に向けての保護者会 学校教員協力の質疑応答 学年末保護者会 修了式、修了お祝い会 卒園式への参列 近隣の園の修了式、修了お祝いの会、卒園式、小学校の卒業式への参加 園だより、学年だより等の配布物 	<ul style="list-style-type: none"> 町会主催の進学を祝う会 出席 交通安全指導の地域見守り要請 近隣施設の見学 台東区郷土かるた等の活用 
	地域	<ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や育ちを知り就学前教育や家庭教育の大切さを理解する 地域行事等で子供たちと関わり、親しみをもつ 		
	園児	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し地域への親しみをもつ 地域の方々と親しみをもって関わる 		